

# 兜跋毘沙門天 複製

岩手愛宕神社 所蔵

重要文化財

考古資料・複製

画像はありません。ご了承ください。

岩手県江刺市の愛宕神社の収蔵庫に兜跋毘沙門天（とぼつびしゃもんでん）立像（国重文）、毘沙門天三像・十一面観音立像（ともに県文化）などが収められている。

毘沙門天は四天王の1つの多聞天のことで、北方の守護神あるいは戦勝護国の神といわれ、平安時代には東北地方で多く祀られた。兜跋毘沙門天は毘沙門天の異形であるが、その名については明確な解釈がなされていない。この愛宕神社の兜跋毘沙門天は、形式的には成島兜跋毘沙門天像に近く、11世紀頃当地でつくられたのではないかとされている。

法量 H 約 2500mm

岩手県博物館の複製品から型取り複製。

現地、藤里の御堂にて撮影色取り。1999年

KYOTO KAGAKU CO.,LTD  
Preservation and Restoration of Cultural Property

tel.075-605-2510  
fax 075-605-2519  
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

<http://www.kyotokagaku.com/jp>  
[rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp](mailto:rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp)



株式  
会社 京都科学